

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4490500016
法人名	有限会社 白ゆり
事業所名	グループホーム白ゆり
訪問調査日	平成19年 7月30日
評価確定日	平成19年11月 1日
評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4490500016
法人名	有限会社 白ゆり
事業所名	グループホーム 白ゆり
所在地	佐伯市上岡1265番地2 (電話)0972-20-5250

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	平成19年 7月30日	評価確定日	平成19年11月 1日

【情報提供票より】(平成19年 7月6日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成18年 8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算	8.75人

(2)建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4)利用者の概要(7月6日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.7 歳	最低	65 歳	最高	92 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	池田医院(外科・内科) 丸山歯科医院(歯科)
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

1. 事業所は交通に便利なバス停も近く、周囲は静かで居室からは小川も見えるのどかな住まいである。
2. 開設一年であるが利用者本位のケアに取り組み利用者の表情が明るく生き生きしている。
3. 全体的に広い間取りで部屋のゆとりもあり体験入居も可能である。居室は自由に入出りが可能で施錠のない開放された生活を利用者は送っている。
4. 水害発生時に地域の一員として避難場所や避難方法を話し合っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今回は初めての外部評価の受審である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員で自己評価を行い、気づき、意見を管理者がまとめていくことが求められる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は市担当者、地域民、利用者家族も入って2度開催し、市担当者からグループホームとしての質の向上や時に応じた注意事項が話されている。今後は評価結果を報告して、改善に向けた取り組みにつなげていくことやメンバーの意欲を引き出すこと、協力体制の確立が期待される。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会もありアンケートも2度行い、家族の来訪時には意見交換もできており、事務長による毎月の家庭訪問で意見の反映、苦情の聞き取りはできている。しかし、苦情や意見の申出先について事業所以外の相談窓口を利用者や家族に周知することが求められる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 開設1年余りで地域の方より野菜を頂いたり、見学の受入れをしているが、今後はボランティアの受入れ、地区行事への参加等地域に根ざした活動が期待される。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型のサービスを目標にした運営方針、目標は掲示しているが、市の担当者のアドバイスの下に作成したものである。理念という認識ではないが職員間での大切にしたいケアの合言葉は掲げられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼と月①回の全体会議で運営方針、目標を確認している。	○	理念について全職員が共有し日々の中で具体的にケアに活かす取り組みが求められる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くにある集合施設の活用をし、地域の人たちとの交流を深めている。自治会に加入しており、市報を利用者は楽しみに読んでいるが、地域の祭りや行事等には参加していない。	○	敬老会、老人会等の交流の場を設けたり、地区行事の参加を検討しているので、今後の取り組みが期待できる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初回の外部評価であるが自己評価は経営者、事務長、管理者主任、看護職員が主になり他の職員の意見は聞いているが職員の意見を自己評価票の内容へ反映させていない。	○	全職員が自己評価を行い、平素の振り返りをし、日々のサービスに活かしていくことが求められる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に市職員、地区長、民生児童委員、中央包括、家族代表等が参加し福祉マップの作成SOSネットワーク等包括の指導、困難事例などを話し合っている。	○	③ヶ月に①回としている運営推進会議を報告、情報交換の場としないためにも意義、役割を理解して貰いメンバーの参加意欲を引き出す取り組みや地区消防団員の参加もお願いし今後の協力体制の確立が期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム開設時から市担当者のアドバイスをもらい連携はできている。介護保険担当者や地域包括センター職員とサービスの質を高めるための話し合いもされている		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、事務長が利用者家族宅を訪問して金銭(通帳)出納等、状況報告をしている。職員の異動についても家族へ話をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に、全職員が利用者の日常生活を把握しているので誰でも対応ができ、話しやすい雰囲気作りをしている。家族アンケートも2回行っている。家族会があるが家族同士の話し合いはしておらず、また意見や苦情は事業所関係者以外に表せる機関が設けられていない。	○	家族会の取り組みが検討されており改善が期待される。また苦情や意見の申出先についても事業所外の相談窓口を利用者家族へ周知することが求められる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設1年で職員の異動も無く利用者へダメージはない。担当は全職員で公平に対応することをめざして決めている。どの職員とでも馴染みの関係を大切に支援している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の機会は開設1年のため少ないが、中途採用の職員には働きながら現場で指導し、2ヶ月間はベテラン職員が夜勤等一緒に行い教えている。	○	新規採用時は初任者研修が介護の自信にもつながりサービス向上のためにも計画的研修の実施が求められる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設の職員研修は受け入れ、管理者や事務長は出向しているが職員は見学等していない。交流は積極的に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームの見学、体験入所をし馴染みの関係を作ったり、慣れるまで家族に来てもらい安心して過ごしていただくなどの工夫をしている。居室が広く家族が入るスペースは十分にある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者とはゆっくり話す時間を持ち、会話の中で利用者から昔の言葉を習ったり不安や苦しみを聞き、支えあう関係作りをしている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族や関係者から情報をもらい、暮らしの中で利用者の思いや要求(家族関係)の把握をし、希望に添った支援をしているが、アセスメントシートへの書き込みが具体的にされておらず情報の共有のための記録が明確でない。	○	より多くの情報を得る為にも誰が見てもわかるアセスメントシートの作成が求められる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時に家族に利用者の状態を話し月1回の全体会議で利用者本位の介護計画を作成している。	○	担当を決めず全職員で利用者の生活を支援しているのでアセスメントを理解した介護計画の作成が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や利用者の要望も取り入れ見直しをしている。状態変化がある場合は終了前でも見直しを行っている。	○	日々の生活の中で知り得た情報を明確にして、今の意向や気づきを随時把握しに即した計画を作成することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望について基本的にはスタッフが支援しているが、家族が来てくれる場合はお願いすることもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接の医院が、かかりつけ医となっており2週間に1回全員が診察を受けている。家族の同意も得ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の看取りは1名行っている。対応については医師と家族・職員で話し合い連携もできているがマニュアルはないが状況の変化に応じた話し合いで対応し、方針の共有化は図られている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の嫌なことや心のうちを把握しているので、トイレ誘導時の声かけや話かけには十分注意をしている。記録物は外部に漏れないよう配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には一日の流れはあるが一人ひとりの体調、気持を尊重し、自室でのんびりしたり、新聞を読んだりと利用者のペースに添った支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前には利用者の負担にならない程度に、おしぼりたたみやテーブルを拭いてもらったりしている。色彩、盛り付けも良く味付けがとともよいと楽しんで食べている。刻み食、トロミ食もあり支援もゆったりとできている。食事の好みや要望・盛り合わせの相談を通して、食べることを楽しみながら意欲を引き出そうとしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月、水、金曜日の午前中と決まっているが、希望があれば何時でも入っている。シャワーを使うのは自由であり入浴を嫌がる人の対応にも工夫が見られる。ゆったりのんびりと楽しむよう心がけており、要望により夜間対応も考慮中である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者で調理経験のある方にはアドバイスを頂き、ご飯のつぎわけをしたり、洗濯物をたたんだり掃除等、生活歴を活かした支援をしている。新聞を個別に4名の方が取っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週に1回買い物で、近くにある百円ショップ等に行き支払いは利用者自身が行い職員は見守りをしている。仏壇を居室に作っている方が多く、お供えの花を買いに行くこともある。月に1回は車椅子の方もドライブに出かけ、要望により墓参りに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	窓は掃き出しできるほどの広さで自由に入出りできる状態だが施錠はなく、玄関・廊下等全て開放しているが問題はない。入居時、帰宅願望のある人は職員が30分ほどじっくりと話を聞いたり、家族に連絡して来てもらうこともある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	一級河川が近くにあり水害に対しては被災地区とあって地域をあげて取り組んでいる。避難場所として隣にある池田医院に了解を得ている。消防分団の方が5～6分に来てくれる。また推進会議の中でも話し合いをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック、残食チェックは毎食後行っている。カロリー計算より好みの食事にして栄養バランスには配慮した献立にしている。飲み込みの悪くなった人に対して、口から食べる支援を大切にしている。	○	定期的に栄養士や保健師から専門的な点検と、アドバイスをしてもらうことが求められる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには天窓があり自然の明かりの中にソファがありマッサージ機も設置している。周りを囲むように木製の長いすがあり何処でもくつろげる雰囲気での自分の居場所がある。梅干の好きな人のため一緒に梅をつけ見える所に壺を置いて居心地よく過ごす気配りが見られる。午後は紙製の魚釣りをして楽しく過ごしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室に流し台、トイレ、使い慣れた収納戸棚があり植木鉢を置いたり、食器戸棚にコーヒーセットを置いたり、仏壇、ソファと馴染みの物が持ち込まれている。全ての居室を見せていただいたが、個性のある自分の部屋と感じられる雰囲気であり、広々とした空間のある居室づくりである。		

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものであるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム白ゆり
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	大分県佐伯市上岡1265番地の2
記入者名 (管理者)	川野 綾
記入日	平成 19 年 7 月 19 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を全員で確認し、地域生活の継続を支えるための支援を行っています。	○	開設して1年。やっと利用者もスタッフも慣れてきたので今後は当事業所をもっと知ってもらうためにも地域の行事にも積極的に参加したいと考えています。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼と月1回の会議にて、理念を確認し徹底しています。		朝礼と月1回の会議にて理念を確認し徹底しています。今後も引き続き行って行きたいと思います。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	月1回の家庭訪問時や家族会等で理念を伝えています。また、地域住民の方のホーム見学等、随時受け入れています。		月1回の家族訪問時や家族会等で理念を伝えています。また、地域住民の方のホーム見学等随時受け入れています。今後も引き続き行って行きたいと思います。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接の畑の持ち主の方にも、利用者やスタッフの顔を覚えていただき、野菜を頂いたり利用者にも声をかけて頂いています。	○	施設行事に参加の声かけをし、交流を図るようにしたいと思います。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の集合施設(道の駅、平和公園など)を活用し、交流を深めています。	○	地域の敬老会や老人会との交流の場所を設けたいと思います。また、地域の祭りや行事等に参加していきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議にて地域への交流について話し合いました。	○	地域の行事に積極的に参加できるようにしたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての外部評価なので評価を生かしたいと思います。	○	今後、行って行きたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催回数少なく、まだ意見交換を具体的にできていません。	○	今後の運営推進会議にて意見交換を行いたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話連絡を密に行い、また定期的に市町村出向き報告、指示を仰いでいます。	○	こちらから出向くだけでなく市役所の方にも当事業所へ積極的に訪問指導をしていただきたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	対象利用者がいない為行っていません。	○	知識不足の為今後勉強会を行い、理解を深めたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に会議を行い、理解浸透や遵守にむけて取り組みを行っています。		勉強会を実施し、今まで以上に徹底していききたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間を十分に取っ対応しています。詳しく説明をし、同意を得るようにしています。</p>	<p>家族が疑問を抱くことのない様今後も説明を十分に行いたいと思います。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見や要望を積極的にきいて、納得のいく様対応しています。又、職員間でも話し合いを徹底しています。</p>	<p>今後も継続していききたいと思います。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>何らかの変化があった場合に限らず面会時又は電話で報告をしています。月1回家族訪問し、金銭の報告を行っています。</p>	<p>今後も継続していききたいと思います。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族会等で常に問いかけ、何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意しています。</p>	<p>○ 家族会等で、家族同士で話し合える時間を作りたいと思います。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の意見や要望を聞くように心がけています。</p>	<p>定期的に個別面談を行いより率直な意見を聞く場を設けたいと思います。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>余裕を持った人員の確保をしています。夜勤を行う職員は日中から利用者との関係が出来ています。必要に応じ勤務時間を変更し、利用者に合わせて対応しています。</p>	<p>今後も継続していききたいと思います。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>顔なじみの職員によるケアを心がけています。新しい職員が入る場合も利用者きちんと紹介し、利用者からホームのことを教えてもらうよう工夫しています。</p>	<p>今後も継続していききたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会には積極的に参加しています。	○ 全職員が共有出来るよう、研修内容を報告する機会を作りたいと思います。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者との積極的な交流をもっています。	今後継続していきたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務時間中にも気分転換出来る場所を確保しています。また、職員同士の人間関係を把握するよう努力しています。	今後継続していきたいと思います。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は現場へ積極的にきており、利用者や職員と関わる時間を設けています。	○ 職員の資格取得へ向けた支援、また取得後の労働環境作り。
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の申し込みがあった時は必ず本人に会って、心身の状態、本人の気持ちを確かめています。	今後継続していきたいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの家族の苦労や今までのサービス利用状況などゆっくり聞くようにしています。その上で、次の段階へつなげています。	今後継続していきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思い、状況などを確認し、相談を繰り返し信頼関係を築くように努力しています。		今後も継続していきたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	やむを得ずすぐ利用になった場合、慣れるまで家族に来て頂く、ようにして、安心感を持ってもらうようにしています。		今後も継続していきたいと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人と会話する機会を設け、不安や痛みなどを知ることに努め、わかちあい、支える関係作りに留意しています。		今後も継続していきたいと思います。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら毎日の出来事や情報共有に努め家族と同じ思いで支援していると伝えていきます。		今後も継続していきたいと思います。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の日頃の状態をこまめに報告、相談すると共に来訪時は本人と家族がゆっくり過ごせるよう心がけています。		今後も継続していきたいと思います。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用している美容院に行き続けている利用者もいます。又、知人や友人に来ていただいています。		今後はこちらからも今まで以上に出かける機会を作りたいと思います。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者個別に話を聞いたり、相談に乗ったりすることにより、利用者同士の関係性について情報連携し、全職員が共有できるようにしております。		今後も継続していきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了した利用者の家族から野菜の差し入れを時々頂いており、継続した付き合いを行っています。		サービス利用が終了した後問題が予想される場合、事業所側からフォローしていきたいと思えます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などからその意思を推測したり、ご家族や関係者の方から情報を得るようにしています。		今後も引き続き行って行きたいと思っております。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人自身の語りや家族、知人等の訪問時などに少しずつ把握しています。		今後も継続していきたいと思えます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人の生活のリズムを把握すると共に、生活、心理面の視点や出来ないことより出来ることに注目し、利用者全体の把握に努めています。		今後も継続していきたいと思えます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回全員参加のカンファレンス開催し、家族への説明や要望の把握を行っています。		今後も継続していきたいと思えます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や本人の要望も取り入れつつ、状態が変化した際は終了する前であっても検討や見直しを行っています。		今後も継続していきたいと思えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、職員の気づきや利用者の状態変化は個々のケア記録に記載しています。又、個別記録を基に介護計画の見直し、評価を実施しています。		今後も継続していきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	体験入所の受け入れを行っています。必要に応じて通院や送迎など、必要と思われる支援に対し柔軟な対応を行っています。		今後も継続していきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう、地域とのさまざまな接点を見出し、周辺施設への働きかけを行っています。	○	今後はボランティアを積極的に受け入れたいと思います。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所のケアマネジャーの方より利用以来があった際、満床で他施設を紹介いたしました。		他事業所のケアマネジャーと相談しながら、在宅での生活の困難な方を受け入れたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括センターの職員が参加しており、周辺情報や支援に関する情報交換や協力関係を築いています。		今後も継続していきたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医療機関の医師をかかりつけ医としており、本人、家族の同意を得ています。		今後も継続していきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医に協力して頂き、家族や職員の話をよく聞き、適切な指示や助言をしてくれます。		今後も継続していきたいと思います。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しています。 協力医療機関の看護師の協力を得ています。		今後も継続していきたいと思います。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は定期的な面会をし、状況把握と情報交換を行っています。		今後も継続していきたいと思います。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に関するアンケートの依頼 主治医と連携を図っています。		主治医と連携を密にしていきたいと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人、家族の意向を踏まえ、職員と医師が連携を取り、急変した場合はすぐに対応して頂けるよう、密に連携をとっています。		今後も継続していきたいと思います。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他事業所に移られた場合、介護添書を提供し、注意が必要な点について情報提供し、細かい連携を心がけています。		今後も継続していきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員が利用者に向けて発する声かけが、プライバシーを損ねることのない様、十分発言に注意しています。記録が外部に漏れないよう配慮しています。	○ 今後も継続していきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員で決めたことを押し付けるようなことはせず、利用者に合わせて声かけし対応しています。	○ 今後も継続していきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは持っているが、一人一人の体調に配慮しながら本人の気持ちを尊重して個別性のある支援を行っています。	○ 今後も継続していきたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の更衣は基本的に本人の意向で決めています。見守りや支援が必要なときは手伝うようにしています。なじみの理美容院での希望に合わせたカットやパーマ等してもらえるよう、連絡を取っています。	○ 今後も継続していきたいと思います。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の負担にならない程度に食事のつぎわけや食器洗い等を一緒に行う。	○ 一緒に献立を考える時間を多く作る。利用者の希望に沿った献立を立てるようにしたいと思います。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人一人の好みや意向を大切にするとともに、周囲の利用者への配慮や本人との調整をしています。	○ 今後も継続して行きたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定時トイレ介助を行うことにより、オムツ使用を極力行わずトイレでの排泄を促している。		今後も継続して行きたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は月・水・金の午前に実施 利用者の体調や希望に合わせて入浴介助をしています。	○	利用者の希望を再度確認し、必要に応じ午後又は夜間入浴を検討したいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めています。寝つきの悪い利用者には添い寝等して対応しています。		今後も継続して行きたいと思います。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物おしりたたみの依頼。 定期的な外出による気分転換の実施をしています。		今後も継続して行きたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て小額のお金を持っている利用者もいます。 事業所が管理している利用者も外出時や、お店が販売に来た際、自分で手渡しで支払うようにしています。		今後も継続して行きたいと思います。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や本人の気分に応じて、買い物、ドライブ等に出かけています。手作りのお弁当を持参しています。		今後も継続して行きたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望にそって故郷に帰ったり、家族と協力し墓参り等行うようにしている。		今後も継続して行きたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望時家族と連絡し、電話を取り次ぐようにしています。利用者の希望に応じて日常的に電話や、手紙を出せる支援をしています。		今後も継続して行きたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪者の都合のいい時間帯にいつでも尋ねて来て頂けるよう配慮しています。又、来訪時は自室でゆっくり過ごしていただいています。		今後も継続して行きたいと思います。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングや日々の申し送り時、自覚しない身体拘束が行われていないか等を、日々点検しています。		今後も継続して行きたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠は行わず、自室、玄関等開放しています。外出希望時は付き添いしています。		今後も継続して行きたいと思います。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者が自室で過ごす際は適度に声かけ、見守りし、事故のない様に配慮しています。夜間は定時に見回りをし、利用者の様子を確認しています。		今後も継続して行きたいと思います。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	自己管理が出来ていると思われる利用者には洗剤、裁縫道具等、持たせているが、こちら側も十分注意し、危険のない様見守っています。		今後も継続して行きたいと思います。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	予測される危険を検討し、事故を未然に防ぐための工夫の取り組みをしています。事故が発生した場合は速やかに事故報告書を作成し、今後の予防対策にむけて検討し、家族への説明と報告を行っています。		今後も継続して行きたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時や事故発生時は主治医や看護師に連絡し、指示を仰いだり、状態に応じ往診して頂いています。	○	緊急時のマニュアルの作成。 応急手当の勉強会の実施。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っています。		今後も継続して行きたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時に最近の様子を報告し、今後の対応や、家族、本人の希望も含めて話す機会を設けています。		今後も継続して行きたいと思います。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック、夜勤帯の様子の報告、連絡の実施、職員間の情報共有に努めています。		今後も継続して行きたいと思います。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬後の利用者の状態を見て、副作用がないかチェックします。状態変化時は看護師や主治医へ連絡しています。		今後も継続して行きたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝の排便チェック、記録。 下剤の定期的服用。		今後も継続して行きたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分で行える利用者には声かけし行ってもらいます。 出来ない方には介助にて行っています。		今後も継続して行きたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>栄養バランスに配慮した献立を心がけています。食事量、水分量チェックを行っています。利用者が食べ終わるまで見守りし、早く下膳しないようにしています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>		<p>利用者、スタッフ全員、インフルエンザ予防接種を行いました。</p> <p>感染症マニュアルの作成、及び実行</p>
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		<p>新鮮な食材の利用 調理用具の毎日のハイター消毒 冷凍、冷蔵庫の食材の残りの点検。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		<p>家族や近隣の方に威圧感が出ないよう花を生けたりして季節感を演出しています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>自室やリビングに季節の花を生けたり天窓を設置したりして明るい雰囲気になるよう配慮し居心地よく過ごせるよう努力しています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		<p>リビングにソファやマッサージ機を設置し自由にくつろげる空間作りに努めています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>使い慣れた家具や、寝具を自室にて使用し、利用者が居心地のよいよう配慮しています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		<p>消臭剤の利用、換気の施行 冷暖房の温度への配慮</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>利用者の状態に合わせ浴室の改修、ベッドの高さの調節、水道の蛇口の改造、手すりの増設などを行っています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		<p>利用者本人にとって、何がわかりにくいかを追求し、状況に合わせて環境整備に努めています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>花を植えたり、畑のスペースを確保し、利用者が日常的に楽しみながら活動できる環境を作っています。</p> <p>今後も継続して行きたいと思います。</p>

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

◎利用者一人一人に応じた個別対応をしています。

◎医療協力機関との連携による終末期の看取りを行っています。